



包括ケアを対話でつなぐ

～カフェ型コミュニティが介護の未来をつくる～

2015・02・27





包括ケア

地域包括ケアが叫ばれて久しいが、地域だけに限らない、有機的なつながりを生み出すもの

キーワードは・・・

他職種、多職種連携、風通しのよい、顔の見える関係



カフェのよいところ

SNSの強みを最大限活かして、広域に働きかけられる

モデルケースの共有がしやすい

同じような価値観を持った人とつながりやすい



**対話で包括ケアを実現
させたい**



大学卒業後、一般企業を経て、高齢者NPO団体設立支援や訪問介護事業所、施設や施設ケアマネージャーとして勤務する中で「未来をつくるkaigoカフェ」を立ち上げる。対話を通じて介護の新しい未来と、地域社会への還元を模索している

介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員



介護業界での自分自身の未来に不安



Facebookで自分なりの思いを発信



現場での対話力不足、対話の必要性



Kaigoカフェ立ち上げ



組織外との接点をもつ人が少ない



内側へ関心が集中してしまう



行き詰まり感、閉塞的な環境から悪循環も起こりやすい

外部とのつながりから視野を広げ自分や今いる組織を客観的に見る目を持つことで新しい世界が開ける

カフェはどんな人が参加する？





カフェのつながり、ネットワークや取り組みを通じて介護の素晴らしいところをもっとPRしたい！

第8回

日本の福祉現場力を高める研究大会

2015・02・10

優しい、素敵くさいという発想から、
やさしい、人間的な深みや魅力の創造へ
↓
福祉の現場ができる介護福祉職の育成

KAIGO
NO
MIRAI

第8回 日本の福祉現場力を高める研究大会
介護がデザインする未来の社会

KAIGO
NO
MIRAI

KAIGO NO MIRAI





人生を豊かにする包括的な
ケアのあり方とは？

A woman with dark hair, wearing a blue patterned sweater, is speaking into a microphone at a podium. She is holding a green oval sign with the text "KADOKAWA" on it. The background is dark.

包括ケアって？

A panel discussion stage with five people seated on chairs. The background is a large green screen with the text "KAIGO NO MIRAI" in white. The woman from the top image is seated on the far right, holding the green sign.

KAIGO NO MIRAI



イベントの企画実行委員として・・・

**具体的なセッションのプログラム、参加者の招待、
またSNSを利用した参加型イベントのアイデアな
どの企画立案・実行することによって、応用して
様々な地域でも参加型の楽しい場づくりを企
画・立案できる自信につなげることができた**



未来をつくるkaigoカフェ

モデルケースの共有と発信の場になっている



それをどう地域のニーズに合わせられるか



ソーシャルネットワークで出会った人が核となる



地域の特性に応じた様々な 取り組みが必要

医療・介護福祉業界からの発信がまだまだ足りない現状

これからどう発信力を高めていけるか？



小学校での出張kaigoカフェ

©未来をつくるkaigoカフェ

Photograph by Hiroki Kondou



埼玉福祉専門学校での出張kaigoカフェ



介護と地域

可能性は無限



未来をつくるkaigoカフェ

カフェ型コミュニティのモデル
ケースとして、全国へ発信して
いく



“KAIGO NO MIRAI”

Special Edition



介護人材カフェテリアプラン

様々な人材交流の場づくりを一緒につくるお手伝いをします

魅力ある人とのつながりが価値





介護は人

人は人の魅力についてくる

素敵なモデルケースになる人や取り組みをカフェのネットワークから知り、アクセスできることが価値、そのネットワークを広げていくことで介護業界の発展につなげていく



**様々な専門知識や魅力を持った仲間
とコラボレーションし、カフェ発の介護の
魅力を介護関係者はもちろん地域や
一般社会へもPRしていく**



**前向きなつながり、絆、チームが
介護をつくる**



介護業界はまだまだ発展途上

不完全だからおもしろい
可能性がたくさんある
介護保険が始まってもう15年
ではなく**まだ15年**
進化はこれから



**一緒に
介護の未来を
つくりましょう！**



介護に関わる人々が思いを語り、学ぶ、対話のコミュニティです。

<http://www.kaigocafe.com>

<https://www.facebook.com/miraikaigocafe>

未来をつくる kaigo カフェ

～対話がつくる新しい介護の世界～



未来をつくるkaigoカフェ
高瀬比左子代表

介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員。大学卒業後、一般企業を経てNPO団体で高齢者ボランティア団体設立支援に従事。その後ヘルパー講座の立ち上げや訪問介護事業所の立ち上げに関わる。現在は有料老人ホームのケアマネージャーとして勤務しながら「未来をつくるkaigoカフェ」を主宰し、対話を通じて介護の新しい未来を模索している。

「未来をつくるkaigoカフェ」
FBページ <http://www.facebook.com/miraikaigocafe>
HP <http://www.kaigocafe.com/>

11月10日に開催した未来をつくるkaigoカフェは千葉の葉園台にオープンしたサービス付き高齢者向け住宅「銀木屋」で開催された。テーマは、「これからの高齢者住宅に求めるものは？」でした。

第15回 介護のイメージアップ

「情報発信力向上を」

銀木屋の建物や居住空間、音楽サークルやダンス

っかけとなりました。

を広く知ってほしいと思

間、音楽サークルやダンス

これからは自らの意志や

ました。

プログラム、地域との関わりなど様々な取り組みのお話を聞く中で、その人にと

趣向を大切に考える高齢者が増えてくる中で、さらに

カフェの参加者はそれぞれの地域でモデルとなる活動をしている人が多くいます、このような先進的な

って自由な生活やリスクと一体何なのかについて考えさせられました。

また、従来の施設サービスではどうしてもケアする側が「管理する」という発

界にとって非常に重要で、その発信力を高めていくことが大切です。また、それが介護業界の活性化やイメージアップにつながるの

な中にも安心があり、リスクは日常の楽しみや生きがい回避するという発想や、住み慣れた在宅の延長線上で生活ができるには一

りできるような、開かれた風通しのよい住宅であることが必要不可欠です。

魅力あるものへ変えていくために、カフェの参加者のみなさんとコラボレーションをしながら、貢献できる

体ながら必要なのか、生活の場をつくるのは一体どう

社会とのつながりや看取りを大切にしていく銀木屋の

よう取り組んでいきたいと思